

もくじ

エコパークについて

ごみ処理施設が新しくなります 1-2

知ってもらいたいこと

東広島市のごみの実情、目標 3
家庭ごみの分別が変わります 4

家庭系ごみ

家庭ごみの分別 5-6
「燃やせるごみ」の出し方 7-8
「危険ごみ」の出し方 9-10
「有害ごみ」の出し方 10
「リサイクルプラ」の出し方 11-12
「その他プラ」の出し方 13-14
「ビン・缶」の出し方 15
「ペットボトル」の出し方 16
「新聞」の出し方 16
「雑誌・雑み・ダンボール」の出し方 17-18
「燃やせる粗大ごみ」の出し方 19-20
「燃やせない粗大ごみ」の出し方 21-22
ご家庭から出た剪定枝・伐採木の出し方 23-24
使用済小型家電の回収について 25-26
古布・古着の回収について 27-28
在宅医療廃棄物について 29
一時多量ごみ・引越しごみについて 30
ごみ処理施設と位置図 31
家庭系ごみ指定袋登録販売店 32
50音順分別早見表 33-62

市が収集・処理しないごみ

排出禁止及び適正処理困難物 63
パソコンのリサイクルについて 64
家電4品目の処理について 65-66
二輪車のリサイクルについて 67
消火器の処分について 68

アパート・マンションにお住まいの方へ

事業系ごみ指定袋を使用している場合 69-70
事業系ごみ指定袋について 71
事業系ごみ指定袋登録販売店 72
事業系一般廃棄物(固形状)収集運搬許可業者名簿 73

3Rを始めよう

生ごみ処理容器等購入費補助について 74
電気式生ごみ処理機の貸出について 75
資源回収推進団体への助成について 75
資源回収登録業者名簿 76

その他支援事業

ふれあい収集について 77
ごみステーション補助について 77
ごみ指定袋交付事業について 78

令和3年10月
オープン

広島中央エコパーク

『高効率ごみ発電施設』と『汚泥再生処理センター』を

広島中央エコパークは、広島中央環境衛生組合を構成する東広島市の『ごみ』と『し尿』を『広域的に共同処理』する最新の施設として供用開始します。

なお、広島中央エコパークは、2市1町で稼働中の『ごみ焼却施設』3施設と『し尿処理施設』を『同一敷地内に集約』することにより、次のような効果が生まれます。

- 最新の技術を取り入れた、より安全・安心な施設となります
- 建設コスト・処理コストを軽減することができます。
- ごみ処理施設とし尿処理施設の相互利用により、効率的な運営となります。

現状の「し尿処理」3施設

東広島エリア
『賀茂環境衛生センター』
竹原エリア
『竹原クリーンセンター』
安芸津エリア
『安芸津クリーンセンター』

集約 汚泥再生



● 「賀茂環境センター」と「大崎上島クリーンセンター」は、継続使用します。

エコパークの概要

基本理念

～快適に暮らせるまちの実現～

中核施設として「先進的な循環型社会の拠点」、「地域住民や市民の交流の場」となる施設を実現します

基本理念

- 資源循環・エネルギー利用に優れた施設
 - ・処理物すべての再資源化による最終処分（埋立）量ゼロ
 - ・ごみの持つエネルギーを利用したバイオマス発電
- 環境学習の拠点となる施設
 - ・管理棟内の環境学習スペースの設置
 - ・管理棟から各処理棟を一筆書きで見学できる通路を設置
 - ・様々な発電設備の設置
- 災害対応・防災拠点を担う施設
 - ・災害時には避難者を受け入れられる施設
 - ・避難者が利用できる備蓄倉庫等を設置
 - ・ガス化溶融炉による災害廃棄物の速やかな処理
 - ・多目的広場を災害ごみの一次仮置場として利用
- 自然と地域を融合した施設
 - ・多目的広場は、通常は芝生広場として利用
 - ・旧山陽道（西国街道）との連結による自然散策

東広島市、竹原市、大崎上島市にて、令和3年10月1日から稼働します。

現状の「ごみ処理」3施設

東広島エリア
『賀茂環境衛生センター』
竹原・安芸津エリア
『竹原安芸津環境センター』
大崎上島エリア
『大崎上島環境センター』
※ 大崎上島町には、運搬の効率化を図るため、中継施設を整備しています。



～最終処分量ゼロシステムの構築～

区分	面積	人口（R 3.3末時点）
処理エリア	約796km ²	220,655人
構成市町		
東広島市	約635km ²	188,969人
竹原市	約118km ²	24,378人
大崎上島町	約 43 km ²	7,308人

多目的広場
(災害ごみ仮置場)